



CSR REPORT 2025

✳ 服部興業グループ

2024.4.1-2025.3.31

CONTENT

- 02 トップメッセージ
- 03 経営理念
- 04 組織図
- 05 SDGs の取組
- 07 トピックス「パートナーシップ」
- 09 経営理念を実現するために（組織統治）
- 11 健全な企業風土づくり（人権）
- 13 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり（労働慣行）
- 18 持続可能な環境への取り組み（環境）
- 19 法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）
- 20 お客様の安心と満足のために（消費者課題）
- 21 地域のお客様と共に（コミュニティへの参画）
- 25 第三者意見

私たちは経営理念のもと、日々の事業活動をおこなっています。その報告書としてCSRレポートを作成するにあたり、世界のすべての団体に適用可能である社会的責任の国際規格『ISO26000』を手引きとして活用しています。同規格のガイドラインに従い以下の7つの原則に則っています。

【7つの原則】

- ①説明責任 ②透明性 ③倫理的な行動 ④ステークホルダー
- ⑤法の支配の尊重 ⑥国際行動規範の尊重 ⑦人権の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し編集しています。

7つの中核主題

服部興業グループの7つのカテゴリー

- 6.2 組織統治 経営理念を実現するために（組織統治）
- 6.3 人権 健全な企業風土づくり（人権）
- 6.4 労働慣行 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり（労働慣行）
- 6.5 環境 持続可能な環境への取り組み（環境）
- 6.6 公正な事業慣行 法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）
- 6.7 消費者課題 お客様の安心と満足のために（消費者課題）
- 6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展 地域の皆様とともに（コミュニティへの参画）

「パートナーシップを重視する」

これは“服部フィロソフィ”の一項目であり、そこには以下のように記載されています。

「私たちは長い間、心の通じあえる、信頼できる仲間づくりを目指し、これをベースに仕事をして来ました。したがって社員同士は、経営者と従業員という縦の関係ではなく、一つの目的に向かって行動を共にし、自らの夢を実現していく同士の関係、つまりパートナーシップという横の関係が基本となっているのです。権力や権威に基づく上下関係ではなく、志を同じくした仲間が心一つにして会社を運営して来たことにより今日があるのです。これはパートナーとしてお互いを理解しあい、信頼しあえる人間同士の結びつきとなったからこそ可能であったのです。」

これは私たちが最も大切にしている考え方の一つであり、2024年度は特筆すべきトピックスを本レポートにでも紹介させて頂いています。

▶天野商事株式会社との連携

この提携は双方にとって貴重な機会となっています。売上は勿論、多方面における人事交流はこれから多くの成果を両社にもたらすと確信しています。SSはもちろん、人事や経理メンバーが双方の知恵を出し合い会社に変化をもたらしてくれています。塗料販売や大手メーカーとの取引は服部興業にとっても新しい風を吹き込んでいます。また、今後は両社の強みを活かし、相互送客や資源の効率活用などシナジーを追求し、両社の更なる発展を目指してまいります。

▶ファジアーノ岡山のJ1

ともに成長して行きたいという思いで19年間応援して来ましたが、とうとうJ1という舞台に立つことが出来大変嬉しく思います。ありがたいことにたくさんの方々からお祝いと激励の言葉を頂きました。またJ1効果は想像以上で、試合のたびに県外の方々からも連絡があり、その注目度の高さに驚かされます。そして、ついに専用スタジアムの建設という新たな目標に向かって街もチームも走り始めました。私たちが更にステージも上げて行かなければなりません。

▶社外ブレインとの協働

法務、税務、労務、健康、安全等々私たちは多くの社外のプロフェッショナルの皆さまからのご支援頂きながら日々業務に取り組んでいます。本当にありがとうございます。その一端を本レポートでもご紹介させて頂いています。

今後とも皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
服部 俊也

経営理念

実践



牛窓本宅広間に掲げられていた「実践」の書

ミッション

正しいことを実践し、
社員の幸福と社会の進歩発展に貢献します

ビジョン

人づくりを原点に、仕事の品質、安全、環境を追求し、
人々の豊かな暮らしを実現する地域ナンバーワン企業を目指します

バリュー

経営信条「3つの満足」
顧客の満足・社員の満足・会社の満足

CSR方針「社業発展、社会貢献」
SDGs への取組

行動規範

家法・考働基本・行動指針・5S 活動・服部フィロソフィ

家法



三代目 服部 平九郎



経営信条

三つの満足

お客様に満足して頂くことが、社員の喜びであり、
会社に発展をもたらすものと確信しています。

- 顧客の満足 期待された以上のサービスの提供
- 社員の満足 生きがいのある仕事、自己の成長、生活の向上
- 会社の満足 適正な利潤の獲得、利益の分配

行動指針

即反応・即実行 仕事に気魄と気働き

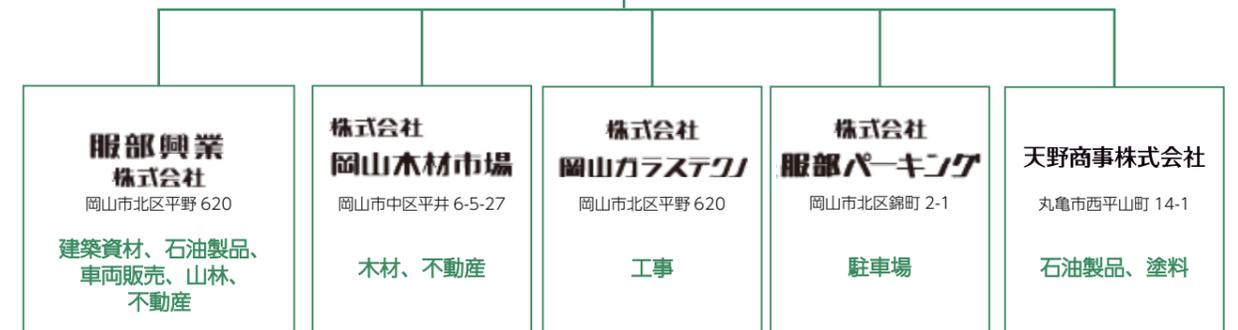
考働基本

	好感	安心感
即反応・即実行	感謝の気持ちを表そう 自ら進んで行動しよう 理解する人になろう	約束は守ろう 報告はすぐしよう 勇気をもって継続しよう
気魄・気働き	身だしなみを整えよう いつも笑顔で接しよう バイタリティーでやり遂げよう	相手の立場で考えよう 自信をもって行動しよう 成功への執念を持とう

組織図

服部興業グループ

グループ売上高 : 120 億円 (2024 年度)
グループ人員 : 171 名



- ガラスサッシ部
 - 外壁部
 - セメント部
 - 土木資材部
 - 山林部
 - 総務部
 - 石油部
 - セルフ平野 SS
 - 倉田 SS
 - ジョイカル倉田店
 - コインランドリーピコラ倉田店
 - ニコニコレンタカー岡山倉田店
 - セルフ花尻 SS
 - セルフ古都宿 SS
 - セブン・イレブン岡山古都宿店
 - 産業燃料
 - 保険
- 営業本部
 - 管理部
- ガラス課
 - 土木課
 - サッシ課
 - 配送
 - 外壁
- 多度津セルフ SS
 - セルフ & エコ
 - 丸亀西 SS
 - サンテラス
 - ぐんげセルフ SS
 - 丸亀ふたご山 SS
 - 高松支店



本社 (株)岡山木材市場 (株)岡山ガラステクノ (株)服部パーキング 天野商事(株)

SDGs の取り組み



SDGs とは、Sustainable Development Goals の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2030年までに達成する目標です。エネルギー問題や気候変動、教育や健康、さらには働きがいや経済成長も踏まえたもので、私たちの企業活動の目的と一致するものも多くあります。

服部興業グループでは2018年4月7日にSDGs宣言を行い、成長目標を定めました。今後も我々が取り組むべきゴールに向けて事業を行ってまいります。

服部興業グループが取り組むSDGs

本業を通じて持続可能な開発目標の実現に努力します。



2024年度SDGs目標・結果				2025年度目標	
部門	目標	数値	結果	目標	数値
グループ全体	①休業災害ゼロ・労働災害の防止	休業災害ゼロ	休業災害2件	①休業災害ゼロ・労働災害の防止	0件
	②資格・免許取得促進による人材育成の強化		15件	②資格・免許取得促進による人材育成の強化	20件
	③定期健康診断と再検査フォロー	100%	100%	③定期健康診断と再検査フォロー	100%
	④CSR活動の情報発信	12回	12回(100%)		
ガラスサッシ部	①玄関ドア、引戸、サッシの交換取付	100件	72件(77%)	①玄関ドア、引戸、サッシの交換取付	100件
	②複層ガラス施工	5,000㎡	2,400㎡(48%)	②複層ガラス施工	5,000㎡
	③断熱・日射遮蔽商品工事	150件	177件(118%)	③断熱・日射遮蔽商品工事	200件
外壁部	①現場ロス材ゼロへの取り組み	80%	70%	①協力会社への安全・品質勉強会の実施	2回/年
	②現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	1回/月	2回/月(200%)	②現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	1回/月
	③ICTを活用した生産性UP(3DCAD、進捗状況確認表、金物集計システム)	90%	90%(100%)	③ICTを活用した生産性UP(3DCAD、進捗状況確認表、金物集計システム、kintone)	100%
セメント部・土木資材部	①既設資材の再利用	10件	5件(50%)	①既設資材の再利用	10件
	②エコ資材の取り扱い(低炭素無収縮セメント販売)	100袋	0袋(0%)	②エコ資材の取り扱い(低炭素無収縮セメント販売)	100袋
	③現場パトロールによる安全意識の向上(無事故・無災害)	2回/年	1回/年(50%)	③現場パトロール実施	6回/年
石油部	①燃費向上のためのタイヤ空気圧点検	12,000台	8,534台(71%)	①燃費向上のためのタイヤ空気圧点検	2,000台/月
	②フードロス削減	前年▲10%削減	昨年▲9.3%	②災害対応訓練	2回/年
	③古紙回収数量	82,000kg	60,040kg(73%)	③社内研修実施	12回
	④社外研修参加	のべ100人	のべ64人(64%)	④社外研修参加	のべ100人
山林部	①森林整備によるCO ₂ 固定化	植林1ha	0.3ha(30%)	①森林整備によるCO ₂ 固定化	植林2ha
	②山と海をつなぐ取り組み継続	牡蠣いかだ用丸太400本生産	374本(94%)	②山と海をつなぐ取り組み継続	牡蠣いかだ用丸太600本生産
	③パートナーシップ推進	産官学連携5件	6件(120%)	③質の高い山林管理による働きがい向上	ドローン・GIS導入
総務部	①社会貢献活動情報発信(募金、寄付、清掃等)	60件	12件(20%)	①社会貢献活動情報発信(募金、寄付、清掃等)	60件
	②DX推進	4件/年	4件(100%)	②DX推進	4件/年
	③教育推進	10回/年	11回(110%)	③教育推進	25回/年
	④カーボンニュートラルに関わる情報共有	1件/月	9件(75%)	④安全衛生活動・健活推進	10回/年
(株)岡山木材市場	①合法木材の取扱量	8,500㎡	5,700㎡(67%)	①合法木材の取扱量	7,700㎡
	②県産材の取扱量	2,200㎡	1,700㎡(77%)	②県産材の取扱量	2,200㎡
	③ペレット販売量	55t	57t(104%)	③ペレット販売量	62t(3,100袋)
	④地域貢献	6回	4回(67%)	④地域貢献	5回
(株)服部パーキング	①場内・周辺美化活動	毎日	100%	①場内・周辺美化活動	毎日
	②事前精算比率向上	70%	事前精算比率62%	②事前精算比率向上	70%
	③歩行歩数計測	10,000歩/日	10,446歩(104%)	③歩行歩数計測	10,000歩/日
(株)岡山ガラステクノ	①連続無災害記録の実施4000日	9日	2%	①連続無災害記録の実施1000日	365日
	②月1回の安全周知会の実施	1回/月	1回/月(100%)	②月1回の安全周知会の実施	12回/年
	③週1回のノー残業デー	49回	31回(63%)	③有給休暇取得促進	10日/人
	④有給休暇取得促進	10日/人	12日/人(120%)	④休日出勤の振替休日実施	100%
天野商事(株)				①100%化学合成油を販売する	100L
				②廃棄塗料(不良在庫)を削減する	100kg未満

トピックス パートナーシップ

▶天野商事との企業統合

2024年7月、服部興業グループは香川県丸亀市に本社を置く天野商事株式会社と企業統合いたしました。

天野商事は、昭和13年に「天野鉱油店」として創業。現在は石油製品・塗料製品の卸売および小売業を営んでおり、本社のある丸亀市と中讃地区に4カ所のサービスステーション(SS)、塗料を扱う高松市の支店を拠点としています。創業以来、「安心と信頼」を大切にきた地域密着型の企業として、地域社会の発展にも貢献。ENEOS 特約店として丸亀エリアで高い知名度と実績を誇っています。

今回の業務提携により、SSネットワークの拡大に加え、新たな拠点と仲間を得られたことは大きなメリットです。また、服部グループにとっては、塗料という新たな分野への参入、さらには四国・丸亀エリアには既存の取引先も多くあり、グループ全体に新しい風を吹き込むことが期待されます。

すでにSSでの相互交流に加え、デザインや事務業務における連携など、さまざまな人的交流も始まっています。今後は、互いに切磋琢磨しながら、より一層、顧客と地域に必要とされる存在を目指してまいります。



本社



セルフ & エコ丸亀西SS

▶岡山大学・山林部共同研究

昨年に引き続き、岡山大学と共に新しい林業を創る共同研究を行っています。この共同研究では、ICTやデジタルを活用することで、効率的な資源管理、環境保全の向上、データ分析による計画精度の向上させ、持続可能な林業を実現する事が目的です。

9月には山佐フロンティア様にもご協力いただき、真庭市の自社林にて、レーザードローンの飛行計測テストやクローラー式ロボットでの点群データ採取などを行いました。教授の他、工学について学んでいる多くの学生にも参加いただいたことは、活用現場を知り今後の研究にも活かしていただけるのではないかと感じております。

今後ドローンやGIS (Geographic Information System) に関して情報収集を続け、データ化、デジタル化を進めてDXにつなげていきたいです。そして様々な挑戦を続けてスマートな林業実現に向けて取り組んでまいります。



クローラー式ロボット

レーザードローン

▶ファジアーノ岡山J1昇格

J2に昇格した2008年から現在までオフィシャルスポンサーを務めています。2024年12月にはJ1昇格プレーオフを勝ち抜き、待望のJ1昇格を果たしました。

昇格後は取引先の方との話題に上る機会が増え、採用活動でも「ファジアーノ岡山を通じて当社を知った」という学生の声を聞くことができました。また、社員がスタジアムに足を運ぶ機会も増えたなど盛り上がりを感じています。岡山を盛り上げるファジアーノ岡山をこれからも支援し、ともに成長していく存在であり続けるよう努力してまいります。



©FAGIANO OKAYAMA

▶外部顧問との連携

日々変化するビジネス環境において、外部からの新たな視点や専門的なアドバイスを積極的に取り入れることが、より良い意思決定につながると考えています。当社では、多岐にわたる分野の専門知識を有する外部顧問の皆さまのご協力をいただいています。とくにガバナンスやコンプライアンスの領域においては、第三者だからこそ見いだせる課題や、的確な改善提案があると実感しており、そのようなご指摘に真摯に耳を傾け、実際の組織運営に反映していく姿勢を大切にしています。これは、企業価値を支える重要な基盤のひとつでもあります。

顧問の方々との定期的なレビューや対話を通じて、更なる信頼関係の構築と共に成長していけるパートナーシップを目指しています。



弁護士

太陽総合法律事務所
近藤 弦之介



安全衛生

本郷労働安全
コンサルタント事務所 所長
本郷 信夫

▶関連記事
P10 安全大会、安全パトロール



会計士

井上公認会計士事務所
所長
井上 信二



教育

株式会社経営開発センター
矢田 昌宏

▶関連記事
P09 実践知研究会「明日の仕事を考える研究会」
P14 歩行ラリー研修
P16 香岐市みらい創り SDGs



社会保険労務士

おかやま人事ネット 21
中野花都江・事務所
中野 花都江



産業医

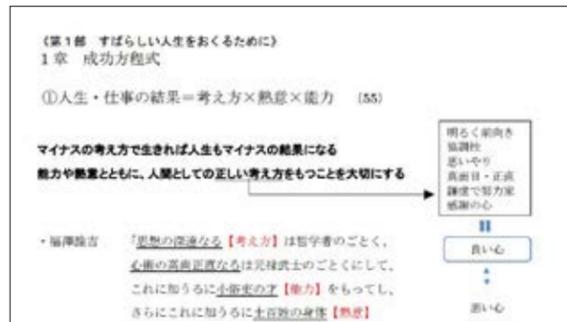
医療法人ゆずりはの木 理事長
脳神経外科・内科
眞壁クリニック 院長
眞壁 哲夫

▶関連記事
P11 健康管理・健康維持

経営理念を実現するために（組織統治）

▶経営理念（服部フィロソフィ）の理解・実践を図っています

創業 200 周年を迎えた 2018 年に 40 項目からなる「服部フィロソフィ」を定めました。人として正しいことを実践し、正しい判断ができる人材を育成するための羅針盤になっています。毎朝 2 名ずつ行っている朝礼スピーチでは、仕事やプライベートでの気付きや行動とフィロソフィを照らし合わせて考えることで、理解と実践に繋がっています。



▶決戦の日

各部門・関連会社の成功事例を発表する勉強会を開催しています。他部門の成功事例を自身・自部門の業務に水平展開したり、取引先に他部門や関連会社の商品を提案できたりと、「オール服部」にも繋がっています。また、取り組んだ仕事やが服部フィロソフィの項目にどのように関連しているかを改めて考えるいい機会にもなっています。年始の新年互礼会では、前年の発表の表彰も行っています。

2024 年新年互礼会表彰者・発表タイトル

- 植山 勝彦 「追いかける指標」
- 村上 正悟 「関係強化」
- 杉山 潤 「ネットワーク」
- 難波 信之 「増減精算」
- 柴田 健琉 「地味な努力を積み重ねる」

▶実践知研究会「明日の仕事を考える研究会」

2019 年より毎月 1 回、経営コンサルタントの矢田昌宏先生による勉強会・実践知研究会を行っています。

2024 年度は約 30 名が 4～5 名の班に分かれ、新しい挑戦や仕事の悩みなどを先生やメンバーから意見をもらい自身の業務に活かしています。現地・現物・現実の 3 つの“現”を確認する「三現主義」やメンバーの集合知を活かしてよりよい結果を出す「集合天才」「内発的動機」キーワードにしています。



▶安全への取り組み

私たちの職場環境は建築現場や山林作業などの危険業務や、危険物を取り扱う仕事もあります。従業員や協力会社の方が安心して働くため、「営業推進と安全は車の両輪である」という価値観を共有しています。新入社員への安全教育も実施することで、安全意識の醸成に努めています。

2024 年度の労働災害は 19 件で、うち過失ゼロが 3 件、休業災害は 2 件でした。無事故無災害で仕事ができるよう、事例の共有や安全周知会などを通じ会社全体の安全意識を高めていきます。



▶安全大会

安全大会とは安全衛生に関する決起集会で、毎年開催しています。2024 年度は、服部興業グループの社外安全コンサルタントである労働安全コンサルタント本郷信夫先生から、「これからは『安全』が会社を救う！～あなたは『安全人間』ですか『結果オーライ人間』ですか～」と題してご講演いただきました。安全方針や計画を定めるだけでなく、協力会社も含めて自主自律の精神で安全を追求していく事が今後より重要だとお話がありました。



2024.8.5

▶安全パトロール

2024 年度は下表の事業主パトロールを実施しました。作業現場や事業所に潜む危険性・有害性がないか確認し、改善指導・アドバイスを行っています。パトロール結果や現場担当者のコメント等は、報告書にまとめて全社員で共有しています。

2024 年度パトロール現場

【月】	【現場名】	【担当部門】
4 月	ライト電業(株)本社敷地内建替工事	外壁部
5 月	S 様邸ガラス工事	ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ
6 月	総社市新庁舎 (庁舎棟・議会棟) 建設工事	外壁部
7 月	倉田 SS 服部パーキング	石油部 服部パーキング
8 月	真庭市上水田ワニダニ現場	山林部
9 月	玉島爪崎造成ガードレール転落防止柵復旧工事	土木資材部
10 月	総社市新庁舎 (庁舎棟・議会棟) 建設工事	ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ
11 月	岡山市新庁舎建築工事	外壁部
1 月	古都宿 SS 倉田 SS、服部興業ジョイカル倉田店	石油部 石油部
2 月	岡山市新庁舎建築工事	ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ
3 月	社有林長畝幹線補修作業	山林部



2024.10.23

健全な企業風土づくり (人権)

▶ 男性の育児休暇を勧奨しています (産後パパ育休)

男性でも積極的に取得が出来るよう体制を整えています。直近では対象者3名が取得しました。部内でのサポート体制はもちろんのこと、取得した従業員の感想を社内報『わかば』に掲載し取得の意識を共有するなど、取得を勧奨する雰囲気醸成しています。

取得者感想



外壁部
笠原 隆世

2週間の育児休暇(産後パパ育休)を取得しました。最初は、かわいい息子と一緒に過ごすことを楽しみにしていましたが、いざ子育てを経験してみると、甘い世界ではないと実感しました。一晩妻に代わって授乳をしたところ、彼女が約3か月間一人で子育てをしてくれていたことの大変さを深く感じました。この経験を通じて、今後は家事や育児に主体的に取り組んでいこうと思っています。また、この育児休暇を支えてくれた外壁部のメンバーには、心から感謝しています。



社内報『わかば』2025年新年号

▶ 健康経営優良法人 2025

服部興業、岡山木材市場が健康経営優良法人 2025 の認定を受けました。今後も従業員が心身ともに健康に働き、それぞれの能力や個性を最大限発揮しながら毎日いきいきと働くことができる”健康人材”が集まる会社を目指していきます。



▶ 健康管理・健康維持

健康診断の結果が要再検査の従業員を対象に受診勧奨を行っています。

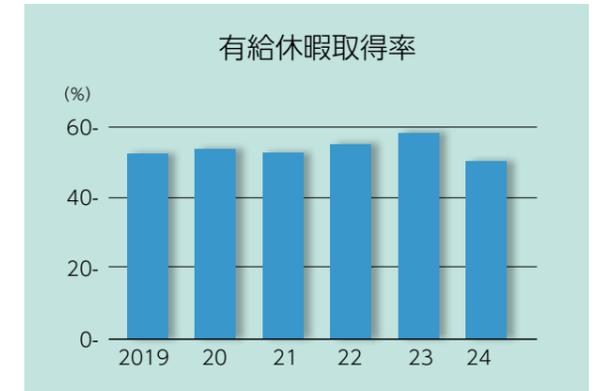
また、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、毎朝朝礼でのラジオ体操、定期的に社内グループウェアでの健康ワンポイント情報の発信など、さまざまな形で従業員の健康にアプローチしています。



2024.10.31

▶ 有給休暇取得率

2024年度の有給休暇取得率は51%でした。有給休暇の取得を促進し、仕事とプライベートの両方の充実を図っています。



▶ 時間単位有給制度導入

2024年度から、1時間単位で有給を取得できる「時間単位有給制度」を導入しました。有給休暇5日分の40時間を分割して取得することができるようになりました。

活用者感想



土木資材部
青山 麻衣

ちょっとした用事の際にとっても便利で、たびたび利用しています。子供の学校行事や病院の受診など、短時間で済む場合に1日や半日分の有給を使わずに済むため、業務の調整がしやすく、大変助かっています。このような柔軟な制度の導入により、働きやすい環境が整っていると感じます。

▶ 配偶者健康診断

健康診断の機会が少ないと思われる控除対象配偶者の方向けに健康診断を勧奨しています。加入している協会けんぽでは40歳以上の配偶者の方が受けられる特定健診は簡易的なものであること、また40歳未満の方は受診できないことから、従業員と同じレベルのプランをオリジナルで作成しました。会社で費用を負担し受診していただきます。

2024年度制度活用：4名

▶ ストレスチェック

労働安全衛生法では、労働者が50人以上の事業所に毎年1回のストレスチェックを義務付けています。服部興業グループでは事業所の人数にかかわらず従業員全員がWEBでのストレスチェックを受けています。ストレスチェックで医師の面接指導対象と判断された方は、産業医との面談指導を受けることが出来ます。

▶ 個人目標シートヒアリング

社員が毎月部門長とのヒアリングを行い、目標への進捗確認や社員が自身の業務への評価を行います。ヒアリングの内容は、人事評価にも反映されます。社員が人事評価に納得感や働きがいを持てる公正な会社を目指して評価制度を定めています。

従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり (労働慣行)

▶キックオフ

一人ひとりが主役となり、全員で会社をつくり上げる“全員経営”を大切にしています。
4月と10月の半期ごとの「キックオフ」は部門・会社の実績と目標を共有する場となっています。



▶表彰制度

毎年、年始の新年互礼会にて表彰を行っています。
今回はのべ33名が表彰を受けました。

資格取得	8名
無事故無違反(10年以上5年毎)	5名
販売協力	上位5名
サンクスカード	上位5名
オリーブ商品販売	上位5名
決戦の日	5名



▶服部アワード

グループ全体での望年会で、1年の功労者を従業員の投票で決定し表彰しています。服部フィロソフィや多くの人を巻き込み協働する「オール服部」の実践、新しいことへの挑戦など様々な点が評価ポイントとなっています。2024年度はMVP 1名、優秀賞 1名、敢闘賞 1名、チーム賞 2チームが選出されました。



MVP 受賞者



石油部
吉田 誠

天野商事統合プロジェクトは、多くの人々の支えで進めることができました。経営や塗料といった新しい取り組みにチャレンジすることで、自身、部門、会社の成長に繋がると感じています。今後は更なる業務効率化やグループ間の人材交流を進め、体制整備に取り組み、石油部が服部グループの牽引役となれるようメンバー一丸となって精進していきます。



▶優良従業員表彰

岡山ロータリークラブにて長年に渡り職務を通じて社会に貢献した「優良従業員」の表彰式が行われ、当社からも1名が表彰を受けました。

受賞者感想

ガラスサッシ部
高橋 秀幸



社長をはじめ先輩たちのご指導やメンバーの協力があったのでの受賞であり、大変感謝しています。表彰式ではRC岩藤会長より「優良従業員の努力が多くの人の模範となり未来への希望を示してくれる」というお話がありました。改めて身の引き締まる思いと、これからも目の前のことに一生懸命に取り組み、メンバーと協力しながらやっていきます。

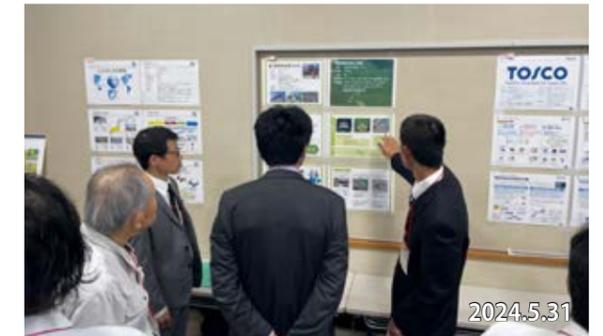
▶歩行ラリー研修

2024年10月に歩行ラリー研修に服部興業グループから3名が参加しました。歩行ラリー研修とは部分地図を頼りにゴールを目指して歩く野外活動を通して「See、Think、Plan、Do(観察、洞察、仮説、実証)」しながら問題解決していく創造型の人材育成で、自立・自律集団(プロフェッショナル型組織)作りを目的としています。今回は、福岡・岡山・福井から参加者が集まり、総勢15名で行われました。歩行ラリー後は4か月間、「明日の仕事の仕方を考える」をテーマとした研究会にオンラインで参加。歩行ラリーでの学びを深めました。



▶OI-Start

当社が参画している産官学連携デジタル活用イノベーションプラットフォーム「OI-Start」発足会に参加しました。ポスターセッションでは、山林部のメンバーがDXサンライズおかやまを通してこれまで考えてきた山林部としてありたい姿やドローン測量デモなどの取組を発表しました。今後は、この「OI-Start」の関係性を活かしながら林業のDX化を推進してまいります。



▶社員相互のありがとうの繋がり「サンクスカード」

考働基本の一つである「感謝の気持ちを表そう」の実践としてサンクスカードを行っています。業務内外での感謝の気持ちを名刺サイズ代のカードに記入し、みんなに見えるように掲示、その後カードは給料明細と一緒に受け取る方へ渡されます。2024年度は2,305枚でした。



▶山林研修

2024年度は新入社員4名が参加し、3日間の山林研修を実施しました。山林踏査、獣害を防ぐための防護柵の設置、ツリークライミング体験などを行いました。

参加者感想



石油部
芳賀 海斗

3日間の研修で、普段の業務に欠かせないチームワークで物事に取り組むことの大切さやリーダーシップをとりメンバーを鼓舞することの必要性を身をもって学ぶことが出来ました。



2024.10.30

▶社内旅行

2024年6月に1泊2日の社員旅行を行いました。毎回社員旅行では、従業員から選ばれた旅行実行委員が計画し、プラン作成やアテンドを行っています。

今回の旅行先は名古屋。1日目はトヨタ産業技術記念館と名古屋城の見学、2日目は自由行動でした。

仕事から離れた環境でグループ社員同士、親交を深めました。



2024.6.14



2024.6.14

実行委員感想

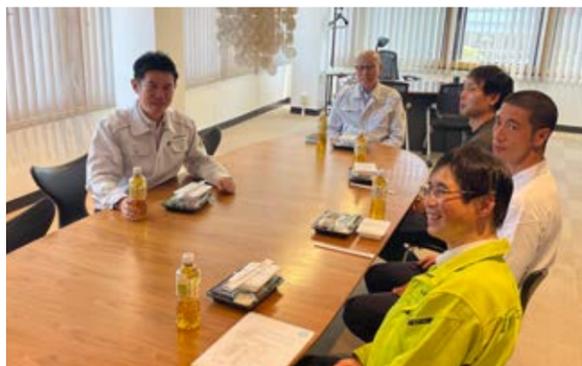


石油部
合田 裕一

おいしい食事や近場で行きやすかったこともあり、参加者の満足度が高かったのではないかと思います。名古屋城のガイドさんは非常に印象に残っています。受け答えを含め大変勉強になりました。

▶誕生日プレゼント・誕生日昼食会

毎年誕生日にお祝いとして社長直筆のメッセージカードとお菓子のプレゼントが届きます。また、同じ誕生日のメンバーと社長でランチを囲む昼食会も行っています。ランチ会は普段あまり話す機会がない他部門や他グループ会社の従業員と会話ができるいいコミュニケーションの場にもなっています。



▶結婚・出産・新築お祝い

結婚・出産・新築の従業員にお祝い金が渡されました。2024年度は結婚1名、出産3名、新築2名でした。モチベーションを高め、仕事にも一層力を注いでもらいたいと考えています。

▶新入学お祝いの会

毎年3月に次年度に小学校に入学するお子様を持つ従業員のご家族を会社に招き、新入学お祝いの会を開催しています。社長からのお話やお子様へ絵本・文具等のプレゼントや、作成したお仕事動画を見てもらいます。お父さん・お母さんが会社でどのような仕事をしているのか理解を深めてもらい、会社を身近に感じてもらうとともに、お子さんから応援してもらえるような仕事・会社を目指しています。2024年度は3家族が対象でした。

参加者感想



岡山ガラステクノ
横田 章

息子は会社に行ける事や会に参加できることを楽しみにしていましたが、当日は緊張していたようです。普段仕事内容について話をすることはありませんが、仕事をしている姿を見せることがないので、動画を見て理解が深まったようです。



2025.3.28

▶吉崎市みらい創り SDGs

社外顧問矢田先生からの紹介で、長崎県吉崎市内の中学校で実施されているSDGs学習プロジェクトに参加しました。このプロジェクトは第1回～第6回までであり、「未来に住みたい吉崎の姿」を考え、そのために自分たちができることを考える活動になっています。

参加者感想



総務部
高羽 茜

自分なりにSDGsについて調べた時には、規模が大きくて個人として貢献できることは何かあるのか？と感じていました。しかし今回の活動を通じて、個人としては小さなことでも意識してまずは一歩活動してみることが大切であり、小さなことを全員参加で取り組むことに意味があるのではないかなと思うようになりました。



2024.6.11

持続可能な環境への取組（環境）

▶旭川一斉清掃に参加しました

10月27日、旭川一斉清掃に従業員とその家族計10名が参加しました。昨年度から引き続き岡木材市場に近い旭川東側の土手・河川敷をゴミを拾って歩き、9袋分のゴミが集まりました。

参加者感想

石油部
安原 周平



初めて旭川一斉清掃に参加しました。想像よりも多くの生活ゴミが河川敷に落ちており改めて自身の普段の行動を見つめ直す良い機会にもなりました。



2024.10.27

▶エコキャップのリサイクル

2018年からペットボトルキャップの回収を行っています。ペットボトルキャップは焼却すると1kgにつき約3,150gのCO2が発生します。2024年度は63kgのCO2削減につながりました。



▶事業活動のCO2排出量

事業の中で排出しているCO2量の算出を行っています。主に電気使用量と営業車や重機等の燃料が対象です。数値化することにより事業活動の環境負荷を明示することで、資源を大切にす気持ちの醸成や省エネ行動・エコドライブといった行動に結び付けていきます。

年度	排出量 (kg-CO2)
2022年度	477,023
2023年度	457,153
2024年度	483,610

従業員感想



石油部
中山 二実徳

グラフにすることで、改めて自身の所属する古都宿SSとセブン-イレブンの電気使用量の多さが分かりました。24時間経営という点ではありますが、メンバー一同、小さなことから節電に心がけていきます。また、食品ロスへの取り組みでゴミとなるものを減らすなど環境負荷を低減ためにできることを一つ一つ積み重ねていきます。

▶社有林植林

真庭市落合の自社林にて植林を行い従業員とその家族、また社外の方計23名が参加しました。比較的なだらかな面積0.3ヘクタールの土地に、シバグリ、ヤマザクラ、コナラ各180本を植栽しました。広葉樹を植えることは、生物多様性の向上、景観の美化、木材資源の多様化だけでなく、落葉による土壌改良や水の保持力が高く、森林の持続可能な管理に貢献します。木材の新たな価値を模索するとともに、持続的な森林管理、地域の環境への貢献を目指し今後も取り組んでいきます。



2025.3.15



参加者感想

岡山ガラステクノ
國房 和徳



家族とキャンプを楽しむのが趣味で、子ども達も自然での活動が好きなので前回に続き今回も参加しました。3種類の植林の中で子供はヤマザクラを選びました。生憎な天候で途中雪がちらつく事もありましたが、子どもたちも前回は作業を行った経験を活かして、一生懸命に穴を掘り植林をしていました。「きれいな桜が咲いたら嬉しい」と言っていたのが印象的でした。各自参加理由は様々だと思います。その思いが森林を育てる事に貢献していると思うと感慨深いものがあると感じさせられました。

▶全国植樹祭

「第74回全国植樹祭」が5月26日にジップアリーナ岡山で開催されました。岡山県では57年ぶり2回目です。「晴れの国光で育つ緑の心」を大会テーマに県内外から約2700人が参加しました。服部グループは協賛企業として式典会場隣「ECO & MOK ハレひろば」で県内の製材メーカーや林業関係など36展示ブース中の1社として県産材の桧を削って作る「マイ箸作り」を実施しました。

参加者感想

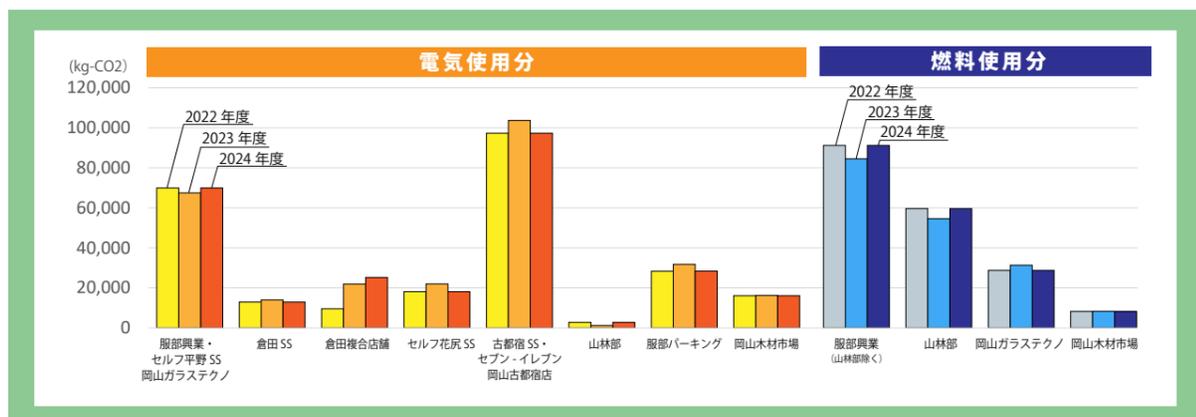


岡木材市場
徳永 睦

子供の他、親子連れ、年配夫婦、他ブースの高校生ら鉋がけに悪戦苦闘しながら皆必死になってマイ箸を作りました。出来上がった時の笑顔と達成感は皆共通していて、ありがとうございましたの言葉に一緒になって喜びました。予想外？の好評さに用意した28人分の材料は昼過ぎには無くなりました。残念ながら天皇后両陛下を拝見する事はできませんでしたが記念になる1日になりました。



2024.5.26



法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）

▶ 大本組様優良職長表彰

株式会社大本組様の安全大会にて優良職長表彰をいただきました。ユアサ工機の現場での安全意識の高さが評価されました。今後も安全品質管理に協力会社と力を合わせ一丸となって取り組んでいきます。



▶ 中国建設工業様安全表彰

中国建設工業様の安全大会にて会社表彰を受けました。ポレスターというマンション工事を中心に作業所の安全衛生に積極的に取り組んできたことが評価されました。



受賞者感想

外壁部
河田 正文



10年近く中国建設工業様との取引にて初の表彰という事で、大変感謝すると同時に気の引き締まるおもいです。松尾社長より表彰状を頂く際には少し緊張しました。今後も表彰に恥じぬ様に安全施工に努めて参る所存です。ありがとうございます。

▶ 戸田建設様利友会環境アクション表彰大賞

戸田建設の協力会社である利友会では、毎年協力会社のSDGsへの取り組みを表彰する環境アクション表彰を行っています。今回、当社の取組が大賞を受賞いたしました。「利他の心を持つ人材の育成と持続可能な会社の実現に向けて」として、植林や林業体験といった環境教育機会の提供、省エネ・資源回収の取組、積極的なボランティアの参加等の取組が評価されました。



受賞者感想

総務部
浅沼 将好



今までの企業間の取組基準としては、信頼関係・価格・安全・品質などが挙げられますが、環境面（SDGs）も重視されていく傾向にあるのではないのでしょうか。CSR委員会としても、そういった点で営業の後押しをしていきたいと思っております。

▶ 全国林業経営奨推行事表彰

山林部が大日本山林会主催第63回農林水産祭参加・全国林業経営奨推行事表彰の林野庁長官賞を受賞しました。これは地域の特性を生かした林業を实践し、地域林業の振興と発展に寄与する経営体を表彰するものです。当社は、社有林・地域森林の管理、SGEC 森林認証による木材の価値向上、カキ養殖用筏丸太や松茸の販売が評価されました。



受賞者感想

山林部
川原 洋平



この受賞はインターンシップや環境教育などのCSR活動も後押しになったと考えています。林業経営は厳しい課題が多いですが、常に新たな可能性を信じて挑戦することで、このように評価していただく機会となり、山林部一同喜んでいきます。今後もより一層研鑽していきます。

お客様の安心と満足のために（消費者課題）

▶ レンタカー事業スタート

倉田複合店舗にて『ニコニコレンタカー岡山倉田店』をオープンしました。車販・保険事業との親和性が高いレンタカー事業に新たに取り組んでいます。

これにより、リース契約者の遠出時の利用案内や貸出、車販案内の機会創出、保険・板金対応時のレンタカー貸出など、お客様対応の幅が広がっています。今後も、サービスの充実を図り、快適にご利用いただける環境を整えていくとともに、ニーズに寄り添った対応を心がけていきます。



▶ 石油部 5社対抗サービスコンテスト

同業の増田石油様、トリベイ様、篠原石油様、三愛リテールサービス様と当社の5社対抗コンテストを開催しました。各社からの代表がSSやセブン-イレブンの商品・サービスなどを提案し、審査員は対応マナーや提案スキルなどのポイントを評価します。ここで培った接客力は実際の仕事でも役立っています。

参加者感想

石油部
山下 直也



練習では石油部の多くの方がロープレに付き合ってくれ、いろいろな角度からアドバイスをもらい試行錯誤して本番に臨むことが出来ました。また、当日も他の参加者の接客を見て自分にはないアプローチの仕方やお客様への心遣いを勉強することが出来ました。



地域の皆様とともに（コミュニティへの参画）

▶おかやまマラソン 2024 ボランティア

服部興業グループは、2017年大会からおかやまマラソンにボランティアとして参加しています。今年も35km地点の給水所でランナーの皆さんへカステラやゼリー、羊羹の給食を配布しました。岡山木材市場はボランティアの駐輪場と休憩場の提供に加え、コールドスプレーのブースを設置しランナーをサポートしました。

給食や沿道での応援が完走の力になったという声も多くいただき、今年もおかやまマラソンをサポートできたことをうれしく思います。今後も地域の活動に積極的に参加し、共に岡山を盛り上げてまいります。



2024.11.10

▶オフィシャルスポンサー招待デー

9月29日、オフィシャルスポンサー招待デーであるVS.V・ファーレン長崎が行われました。従業員とその家族、取引先の方々約300名が観戦し共に熱い声援を送りました。試合前には、選手と同じ目線でスタジアムを歩くニアザピッチや選手と一緒に入場するエスコートキッズなど観戦以外でも家族で楽しんでもらえる1日となりました。



▶平井まつり木工教室

岡山木材市場では、毎年地域貢献活動の一環として平井小学校で開催されている「平井まつり」で、親子ふれあい木工教室を開催しています。2024年も山林部と協力し、イス作りとマイ箸作りを行い、多くの方に喜んで頂きました。今後もこうした活動を通じて、木の良さを広く伝えていきます。



▶おかやまボランティアアワード NEXT

このアワードは自発的な社会貢献活動に取り組む県内の高校生の活動とその努力を顕彰するもので、今回審査員として参加しました。参加した高校生全員が地域を良くしたいという思いで、発想力や課題発信力を活かして活動していました。今後も様々な形で頑張る高校生をサポートしていきます。



2024.11.24

▶中学生の職場体験

今年度は6回の職場体験に協力し、計10名の中学生を職場体験に受け入れました。

中学生には、SSではお客様への声掛けやチラシの配布、洗車の拭き上げ、タイヤ・オイル交換の補助等、セブン-イレブンではレジ、品出しなどの業務を体験してもらいました。

会社としても中学生の職業観の醸成だけでなく、人材育成や職場の活性化、社員教育の一環と考え、今後も積極的に取り組んでいきます。



中学生の感想（一部抜粋）

ガソリンスタンドで働く側の視点に立つことで普段気づかないことにも気づいた

反省した点を活かして今後積極的に物事に取り組もうと思った

受入場所	期間	中学校 人数
セルフ平野 SS	11/06～08	吉備中学校 2名
セルフ花尻 SS	10/23～25	御南中学校 1名
//	11/06～08	吉備中学校 1名
倉田 SS	11/13～15	東山中学校 2名
//	12/11～13	操南中学校 1名
セブン-イレブン 古都路店	11/06～08	上道中学校 2名

▶京山中学校中高生×企業交流カフェ

岡山市立京山公民館・京山地区 ESD・SDGs 推進協議会主催の中高生×企業交流カフェ～地元企業を知ろう！～に参加し、京山公民館近隣の中高生約35名に向けて、当社3社が事業内容やSDGsについて講演や交流を行いました。今後も地域教育の一端に携わりながら、多くの中高生に岡山や岡山の企業について理解を深めてもらい、将来は地域の発展に貢献したいと感じてもらえるようにサポートしてまいります。



2024.8.5

▶BeLive 実行委員

BeLiveは、高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じて、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。服部興業は実行委員としてこのプロジェクトに参画しています。共に岡山の街づくりに貢献する気持ちを大切に、今後も会社としても出来る事には積極的に協力していきます。



2025.1.25

従業員感想

山林部
川原 洋平



イノシシの骨でラーメンスープを作る高校生がいると聞き驚きました。背骨とあばらが良い出汁が出るようです。解体後に発生する骨や皮は埋設処理が必要ですが、本来なら肉以外の部位も利用することに意義があると思います。冷凍状態で数頭分提供させていただきました。



▶後楽館高校森づくり指導

参加した高校生は11名。ヒノキ、コナラの伐採木の枝落とし、ノコギリでの玉切りや細い木の伐採を体験してもらいました。

生徒たちからは、「木が倒れる瞬間の音がすごかった」「玉切りしていくうちにノコギリが挟まれてしまう」「ノコギリで丸太を切るのはしんどい」などの感想がありました。



▶岡山県立大学「吉備の杜」

岡山県立大学「吉備の杜」創造戦略プロジェクトにて、同大学の森林・木材学演習の学生、教員計17名を当社落合山林に受け入れました。2019年から継続し、今回で5回目となります。

午前中は人工林と自然林の違いを意識しながらの山林踏査、午後からはツリークライミング体験や箸づくり体験を行いました。



▶清心中学校ツリークライミング

清心中学校の生徒16名が当社自社林にて、ロープだけを使って木に登るツリークライミングを体験しました。限られた時間でしたが、山林部メンバーが全員でサポートし同時並行で登ってもらうことで、皆が楽しみながら気に触れ合うことが出来たのではないかと思います。



▶慶應義塾中等部卒業記念円卓

慶應中等部卒業記念円卓を送付しました。これは、2003年に寄付した慶應義塾学校林「岡山落合の森」で伐採した広葉樹を材料に、地元の木工房もものたね様に製作を依頼したものです。円卓は、SDGsを連想させるデザインで、質感の違う3種類の広葉樹（コナラ・ホノノキ・ヤマザクラ）で作られています。食堂横のホールに置かれるとのことなので、多くの人に触れて楽しんでいただければ幸いです。



▶アフラック募金

アフラック募金として、服部興業グループ従業員から56,935円を集めることができました。集まった募金はアフラックアソシエイツ会を通じ、小児がんを経験した高校生や親をがんで亡くし経済的理由で進学の機会がせげめられている高校生の支援を目的とした返済不要の奨学金として活用されています。

▶浅口市企業版ふるさと納税「寄島中学校跡地利活用事業」

ファジアーノ岡山スポーツクラブは、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用して、寄島中学校跡地に「ファジアーノ岡山スポーツパーク寄島」を整備しました。スポーツ施設を充実させることで地域活性化や交流人口の増加を目指しており、この活動に服部興業も寄附を通じて協力しています。この支援が地域の発展を推進する一助となることを期待しています。



▶蒜山新庄トレイルラン協賛アクティビティ

岡山県新庄村・真庭市蒜山の山岳エリアを舞台に行われるトレイルランレース「FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO」に一昨年から協賛しています。

この度協賛の返礼として、8月17日に大山隠岐国立公園毛無山の麓をメインにアクティビティを開催していただきました。参加者20名はガイドの方々から自然の重要性を改めて学びながら充実した時間を過ごしました。



▶LIXIL 住まいから未来へつなぐプロジェクト 2024

㈱LIXILは2024年10月～12月に日本国内で、高断熱窓・玄関ドア・日射遮蔽などの省エネ商品1台購入につき50円～100円をユニセフに寄付する取り組みを行いました。

服部興業ガラスサッシ部も賛同企業としてこのプロジェクトに参加し、対象商品293台分の計24,100円を㈱LIXILを通じて日本ユニセフ協会に寄付致しました。寄付は自然災害緊急支援や気候変動対策支援に使われます。



▶能登大雨災害義援金

令和6年9月能登半島豪雨に送る義援金を服部興業グループで募り、従業員87名に協力いただきました。集まった義援金に会社から同額を合わせ、日本赤十字社に持参いたしました。全額が被災地義援金分配委員会によって被災された方々に届けられます。



▶KOTOMO 基金寄付

KOTOMO基金への寄付は今年で4回目になります。服部興業グループ従業員67名から集まった厚意とSSに設置している募金箱、会社から支援した寄付金を岡山NPOセンター参画推進センター所長西村様にお渡ししました。寄付金は、不登校の子どもへの訪問支援や子ども食堂などに活用されます。



第三者意見

代表挨拶

CSR 報告書を読む会
代表幹事 川元 盛樹

SDGs の達成目標とされている 2030 年まであと 5 年となりました。世界情勢は SDGs 目標達成とは大きくかけ離れているかのような動きを見せ、目標達成は困難に直面しています。しかし、この間の地球温暖化による気温上昇、世界経済不安による物価高騰など私たちが日々直面している現実には猶予はありません。

だれ一人取り残さない持続可能な世界 / 社会を実現するためには私たちが活動している場所を見ることが大切です。働くことと企業経営は単に経営者による指示によって可

能になるのではなく、従業員や取引先、地域住民などステークホルダーが日々感じていることから始まります。しかし、これらは見えるものではありません。

服部興業が大切にしている「パートナーシップを重視する」という視点が、見えていなかったもの、考えられていなかったものを明らかにし、企業として培ってきた文化資本に基づいた経営を可能にしています。今回の CSR レポートは企業としてこれまで取り組んできたことが新たな文化資本へと高められる転換点に位置するものであると思えます。

代表幹事
川元 盛樹



岡山県労働組合会議

特筆すべき点

前年と比較するとひとつのとりくみの成果が可視化され、どのようなことをされているのかイメージしやすくなっています。男性の育児休暇奨励は長年取り組まれています。積み重ねることによって社内のサポート体制も充実してきていると考えられます。

さらなる取り組みを期待する点

御社として考えるジェンダー平等とはどのようなものでしょうか。ジェンダー平等は世界的にも重要課題となっています。日本では出産後も女性が安心して働き続けることのできる制度は整備されていますが、充分普及しているとは言えない実態があります。人口減少、少子高齢化によって子育て・介護・家事労働などのケアを社会全体で支えていかなければならない状況になっています。そのような中で企業として考えるジェンダー平等を明確にしていくことがさらなる人権・労働慣行の充実につながっていくものと思われ。御社の考えをまとめたジェンダー平等宣言のようなものを検討されることを期待します。

幹事
築谷 淳志



公益財団法人
岡山県環境保全事業団
環境創造部 部長

特筆すべき点

日本内外での政治経済混迷の度合いが増している状況のなか、貴社の社会責任を果たす一貫した取り組みをされていることに、敬意を表します。全組織、全活動に関連した取り組みを継続されていますが、コミュニティへの参画における積極性の拡大が目を見えます。特に、職場体験や企業交流会をはじめとする中高生を中心とした次世代に対する交流の拡大は、地域を担う人材の育成であるとともに、貴社の将来を担う人材にもなりうる可能性を秘めた、非常に意義の高い活動と評価できます。

多くのステークホルダーとの関わりを紹介されていることは、このレポートの読者が貴社に対する信頼を高める機会となり得ますが、これらの活動を通じて貴社と社員の皆様や地域に対してどのような価値を提供していくのか、より具体性のある将来計画を伝えていくことで効果は高まるのではないかと考えます。

さらなる取り組みを期待する点

ファジアーノ岡山を 15 年以上支えてこられたことが報われる J1 昇格は、地域を非常に盛り上げる素晴らしい出来事でした。一方で、サッカーを始めとするスポーツと環境問題への関心は高まっており、気候変動が子供たちの気軽にスポーツを楽しむ環境を阻害する可能性や、多くのスタジアムや観客の移動などエネルギーを消費するプロスポーツの持続性に対する問題点が指摘されています。リヴァプール FC など世界を代表するプロスポーツクラブが取り組みを進めるなか、パートナーシップを重視し地域の持続性に貢献される貴社にあっては、ファジアーノ岡山やスポーツを楽しむ環境が持続的であるための活動として、多様なコミュニティへの参画ノウハウを活かした環境配慮や環境整備への働きかけを期待します。

幹事
石原 達也



特定非営利活動法人
みんなの集落研究所会長・
SDGs ネットワークおかやま会長

特筆すべき点

冒頭のパートナーシップの広がり、またそもそもパートナーシップを重視されていること自体が特筆に値することですが、それを超えて、組織統治から始まる従業員の皆様の参画意識・オーナーシップを発揮する機会や学ぶ機会、働きやすさの充実などに関する取り組みに年々充実を感じるとともに、人を大切にすることを社であることが伝わってきます。

どの業種でも人手不足、人材不足が言われる中で、こうして様々な制度をニーズとシーズにあわせて創出されていることは、言葉だけではなく、実際に人を大切にしている会社であるという姿勢が伝わります。また、重ねて言うならばコミュニティへの参画でも子ども・若者・学生へと多くの目が向いていることがわかり、次世代を大切に、地域に人をはぐくむ意思がある会社であることも伝わります。これらは御社が人に選ばれる会社につながり、そして、その縁を結ぶことも、このレポートの中核的な価値であると改めて感じました。

さらなる取り組みを期待する点

さらに欲を言うのであれば、アメリカでの政治状況や国際的なトレンドの変化、国内でも円高やコメなどの不足、景気、格差拡大の中で、近視眼的な視点に陥りがちな状況でもある中で、森を育てるという長期目線に立たなければ取り組めない業に取り組みされる御社でこそ、社員の皆様や地域の子どもたちに向けて、長期的な目線や広い視野、世の中のつながりを理解できる人材の育成を期待します。森はまさにその格好の題材でもあります。

また、気候変動により水害のリスクが年々高まり南海トラフなど地震の危機も近づく中で、防災の取り組みや、脱炭素の取り組みもさらに重要であると考えます。これらを地域に足をつけて取り組まれる御社だからこそ、地域コミュニティや学校などとも連携しながら例えば、断熱ワークショップやコミュニティでの PPA、避難訓練、災害備蓄のシェアなど実践的に取り組んでいかれることも期待します。

幹事
小桐 登



岡山県ボランティア・
NPO 活動支援センター
CSR 担当

特筆すべき点

事業活動を通して、理念経営を実践されており、各方面での取り組みの質は年々高まっていると実感します。特に、公正な事業慣行においては、数々の表彰を受けるなど、地道な積み重ねが結果として表れています。コミュニティへの参画についても金銭面での支援だけでなく、積極的な社会とのコミュニケーションづくりを行っておられ、その範囲が広がって生きていることは大変素晴らしいです。これからも継続した取り組みを期待します。

さらなる取り組みを期待する点

環境への取り組みとして、事業活動における CO2 排出量を継続的に把握されていることは、評価できます。さらに一歩進めて、EA21 などの環境マネジメントシステムの導入をされることで、コストダウンや社員の環境意識の向上を図ることも有効と考えます。2050 年に向け国内ではカーボンニュートラル達成のために、カーボンクレジット市場の形成とともに大手企業に関しては、カーボンニュートラルへの取り組みやサプライチェーン全体での脱炭素化を促すため、スコープ 3 の開示も一部企業で義務化されており、徐々に中手企業にもその影響が広がりつつあります。貴社においては、森林経営もされており、本業における Jクレジットの創出もビジネスチャンスと考えられます。環境面における新たな取り組みを検討されることを期待します。



〒 701-0151 岡山市北区平野 620
TEL (086) 293-2111 FAX (086) 293-2112
<https://www.hattori-k.co.jp> Email:info@hattori-k.co.jp

ご意見ご感想をお聞かせください



服部興業グループ CSR レポート 2025 についてのアンケート